

報 告 書

(岡本 班)

開 催 日 時	平成 30 年 5 月 15 日	
開 催 場 所	旭支所	
出 席 議 員	岡本 正友、村武 まゆみ、小川 稔宏、 笹田 卓、永見 利久、西村 健	
	司会者	岡本 正友
	ファシリテーター	笹田 卓 西村 健
	報告者	永見 利久
	記録者	村武 まゆみ 永見 利久
	議長団	田畑 敬二 副議長
参 加 人 数	35 名	
主な要望・提言等	<p>○シングルペアレント事業について、旭自治区へ 2 組みの方が見えておられましたが、現在は、おられません。現在どのような状況なのか伺う。</p> <p>【西村グループ】 主な要望・提言等</p> <p>○行政や市議会を見させて頂いているが、あまりめぼしいものがない。予算が限られている中人は減って、それでも議員さんたちは住民の意見を吸い上げて、あれをしよう、これをしようとして頂いているが、住民にも辛抱できる事はしてもらわないと仕方がない。</p> <p>行政や議員達は、将来 10 年、20 年先をどう考え、見据えているのか見えない。</p> <p>外から人を呼び込むのは、このままの状態では無理ではないのか、人が出ていかない施策を行うほうが良いと思う。</p> <p>○私たちの住んでいる町の農地を守らないと益々寂れてくる。農地の荒廃が進んでいる。高齢で農地の耕作が出来ない方の農地が荒廃する。その農地を受託し耕作されている方への支援策がないので行政(農林サイド)でそういう事を考えて頂きたい。</p>	

<p>主な要望・提言等</p>	<p>○議会だより P14 の写真は、都川の棚田ではなく、来尾の棚田の写真である。</p> <p>○意見交換のテーマとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の荒廃 ・人口減少、今は矯正施設があるので ・防災 職員は少なくなる自主防災は立ち上げてあるが ・自治区制度はどうあるべきか、自治区は存続してほしい。自治区長がおられない。誰がそれだけの権限を持っておられるのか。支所長さんが旭の声を集約して反映して頂けるのか。代弁して頂かないと旭の声は届かない。 <p>【意見交換のテーマは自治区制度】</p> <p>○自治区制度は、合併当初からのなじんだ制度で、無くすというのは大変寂しい。何もかもが中央に行ってしまうと地域が廃れる。</p> <p>○自治区制度は全国的にみても珍しい制度で、逆に誇りに思っても良いと思う。それを消すという事が理解できない</p> <p>○浜田市の自主財源の金額はどのくらいあるのか。 予算額の 30% 70 数億</p> <p>○自治区制度は存続し、地域コミュニティも大切である。地域の意見を集約して吸い上げる場を作って頂きたい。</p> <p>○自治区制度は存続してもらいたい。浜田市内と 4 自治区は全く事情が違うわけで、問題もそれぞれ違う。旭は旭の事情、金城は金城の事情、弥栄の事情も違う。何を大事にしたいかもそれぞれ違うわけで、その地域、地域の大事なものを重視した考えかたでやっていると地域崩壊につながる。</p>
-----------------	---

<p>主な要望・提言等</p>	<p>○特に旭町は人口減少がひどい、山林と農地ばかりでこれを何とか解決する方法を考えていかないと旭へ住む事ができない。浜田市内と状況が違うそこらあたりも考えて頂きたい。</p> <p>○和田の4自治会の会長の要望を取りまとめて連合自治会へ出し、連合自治会は支障三へ要望書を提出する。一方、地域協議会は、地域協議会で全般的な話し合いをしている。それぞれの地域で皆さんが何を困っておられるのか分かっている。小さなことや色々な事でも上げる所がないと、自治会も自治区制度がないと困る。存続してほしい。</p> <p>【笹田グループ】主な要望・提言等</p> <p>○農地荒廃が年々増え、組織では追い付かない状況となっている。</p> <p>○地域住民の高齢化が進んでいるが、特に地域のリーダーがいない。自治会も苦慮している。支所職員で気軽に相談できる職員が欲しい。</p> <p>○（旭支所職員）専門的な知識を持っている職員がいないので的確なアドバイスも難しい。まちづくりアドバイザーがいたらいい。</p> <p>○県の河川で土石が溜まって川幅が狭くなっており、土が溜まっているところから竹や草木が生えているところがある。県土木事務所に要望しているが、川の部分の半分以上にならないと対象にならないと言われている。大雨などの災害のことを考えると早く対応して欲しい。</p> <p>○イノシシ対策、農地の対策は進んでいるが、町中の対策ができていない。最近町中にも出てくるようになった。</p>
-----------------	---

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農地集積について、組合法人はあるし住民でも話し合いをしているが、市から具体的 H24 年の農地保全プランについて、想定以上に進んでいない。マップを作成して見える。集落を選定し住民意識を高める必要がある ○防災、消防など市民の命に関わる所に予算をもっとつけて欲しい。人的なことだけでは限界がある。デジタル無線など機器の整備も必要。浜田市は遅れている。 ○若いお母さんが集まれる場を作って欲しい。 ○旭に誇りをもてるふるさと学習を進めて欲しい。 ○どんどん公民館の予算が削られている。公民館と一緒にまちづくりをしていく必要がある。何が地域課題なのか、公民館での学びはとても大切である。 ○浜田市が何をしたいのか、どこに向かっているのかビジョンが見えてこない。 ○農業を始めている若い人へもっと支援が必要。 ○自治区制度について、現状維持を望む。変わるとしても前回以上に市民の声を大切にしてほしい。 ○自治区制度を市議会でぜひ検討して欲しい。
-----------------	---

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

平成 30 年 6 月 6 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

岡本 班

代表者 岡本 正友